

編集後記

丁度、この編集後記を書いているタイミングで、共同利用・共同研究拠点の期末評価調書を文部科学省に提出したところです。今年度は新型コロナウイルス感染症のため大幅に減りましたが、通常での年間の共同利用課題は 1,000 件に上り、延べの参加人数は 7,000 人を越えます。コミュニティの皆さんのご協力に期末評価作業を担当している者として、厚く御礼申し上げます。さて、今号はいつになく濃くかつバラエティが富んでいるのではないのでしょうか。井上先生は 60 号第 1 号にも寄稿されていますが、今回のイントロ部分は、物性研だよりとしてはとても新鮮な出だしになっているかと思います。銅酸化物の大小のフェルミ面の観測の成功は、レーザー光電子の超高分解能を活かした上で強磁場でのドハースを組み合わせた先端施設を有する物性研の真骨頂ともいうべきでしょうか。そして、機械学習もあり、と。バーチャル物性研を始めたとしたオンラインで開催した一般公開はとても評判であり、コロナ禍後でもこの潮流は続くことと思います。かなり高度のスキルによって為し得たバーチャル物性研の構築を始め、ライブ配信に向けた多大な尽力に対して、今年度の物性研究所所長賞の ISSP 柏賞が関係者に与えられました。

鈴木博之

物性研だよりの購読について

物性研だより発行のメール連絡を希望される方は共同利用係まで連絡願います。

また、物性研だよりの送付について下記の変更がある場合は、お手数ですが共同利用係まで連絡願います。

記

1. 送付先住所変更（勤務先⇔自宅等）
2. 所属・職名変更
3. 氏名修正（誤字脱字等）
4. 配信停止
5. 送付冊数変更（機関送付分）
6. メール配信への変更

変更連絡先：東京大学物性研究所共同利用係

〒277-8581 柏市柏の葉 5-1-5

メール：issp-kyodo@issp.u-tokyo.ac.jp